

## 令和2年7月臨時会報告

令和2年7月28日（火）から8月7日（金）の間、7月臨時会が開催されました。

今議会では、令和2年度宇部市一般会計補正予算（第4回）が上程され、審議しました。

今回の補正は、国の新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を主な歳入として、新型コロナ対策等に使用する事業に10億5,856万3千円補正するものです。大きく分けて

1. 子どもを取り巻く新たな日常に対応した環境づくり 273,994千円
2. 市民・市民活動の新たな日常に向けた支援 274,835千円
3. 事業者の新たな経済活動の確立 243,100千円
4. 行政のデジタル化などの基盤整備 269,681千円

などに使用することになっています。

今回の補正は、総務財政分科会、文教民生分科会、産業建設分科会に分かれ審議をしました。

私が所属している文教民生分科会では、市内アーティストによる公演の支援、渡辺翁記念館・文化会館の常時換気や映像配信システムの導入・運用、恩田運動公園内に設置する仮設噴水の設置・運営、災害情報に関する画像通報システムの開発委託、男性従業員に育児休業を取得させた事業者及び男性従業員に助成する女性活躍推進経費、地域SNSの導入、市民センター及びふれあいセンターに飛沫防止パネルや網戸の設置、地域団体等のWeb会議のための環境整備、使い捨て容器削減実証事業のための委託料、農福連携ネットワークの構築、生活支援ハウスの職員に対する慰労金支給、高齢者の外出及びタクシー会社の支援のための補助、公共施設に必要なAI体温検知カメラの整備、災害時の避難所における感染症対策に係る備蓄品購入、1歳から中学3年生に対するインフルエンザの助成、公立保育所の体温・午睡チェックシステム・保育運営支援システムの導入、私立保育園に対する業務ICT化システム導入に対する支援、認可外保育事業所の職員に対する慰労金、地域型保育事業所の職員に対する慰労金、令和2年7月から令和3年3月末までに誕生した新生児を対象とする新生児応援特別給付金の拡大、中学校の修学旅行の宿泊キャンセル料などの追加費用分の補助、部活動指導員の追加配置、小中学校の新型コロナウイルス対策経費、児童・生徒1人1台とするためのタブレット端末の整備、宇部市立図書館における電子書籍導入経費が補正されました。

恩田公園内に設置する仮設噴水の設置・運営については、夏休み期間中に利用ができるように6月議会の補正予算ですべきでした。

他の分科会の所掌範囲で気になったことは「まちづくり会社出資金」につい

てです。株式会社にぎわい宇部が都市再生推進法人として、まちづくりの新たな担い手となったことにより、事業の拡大を図るために増資をするために本市の出資金も積み増すものです。

分科会の中で、新しいまちづくり会社の資本金は2千から2千5百万円で、市内金融機関、市内大手企業にも資本参加をしてもらうことになっており、新型コロナウイルスの影響を受けている飲食店等の支援を行うためのテイクアウトを中心としたイベントや、国土交通省からの国道の規制緩和ということでテラス営業等規制緩和も行われ、平和通などの道路活用等の事業など民間活力を利用した事業展開も可能になるということです。

今後のまちづくりは非常に難しいかじ取りになると予想されますが官民が一体となり進められることになり、大いに期待をするとともに、執行部、議会とも大いに知恵を絞ってこの難局を乗り越えて行こうと思っています。

国の新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金については、まだ3億円近くあるということで、9月議会以降に引き続き補正予算が組まれると聞いています。